

VIDEO MUSIC AWARDS JAPAN 2019

報道関係各位

2019年9月18日
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

◆優れたミュージックビデオを表彰する音楽アワード「MTV VMAJ 2019」のスペシャルイベント◆

「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」

**GLAY、三浦大知、日向坂 46 ら受賞アーティストが圧巻のステージ
King Gnu が 2 冠達成！**

VMAJ 史上最速！メジャーデビューから 8 か月で最優秀ビデオ賞を受賞！

世界最大級のユース向け音楽&エンターテインメント・ブランド「MTV」を日本で展開するバイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社（東京都港区、代表取締役社長：井股進）は、年間の優れたミュージックビデオを表彰する音楽アワード「MTV VMAJ 2019」の受賞者が出演するスペシャルイベント「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」を 9 月 18 日（水）に STUDIO COAST にて開催いたしました。

「MTV VMAJ」は、年間の優れたミュージックビデオを表彰する音楽アワードで、今年で 18 回目を迎えます。各部門の受賞作品は、日本をはじめ各地域の MTV クリエイティブディレクターから構成される選考委員会が、「世界基準の優れたミュージックビデオを選ぶ」という観点のもと選出。さらに受賞作品の中から、年間で最も優れた作品「最優秀ビデオ賞」を決める一般投票を、8 月 6 日（火）～8 月 31 日（土）の期間、オフィシャルサイト <http://www.mtvjapan.com/vmaj/2019> で受け付けました。

本日開催した「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」には、各部門の受賞アーティストやスペシャルゲストが出演し圧巻のステージを披露したほか、最も投票を集めた作品に贈られる「最優秀ビデオ賞」が発表されました。

イベントのトップバッターとして出演したのは、「最優秀新人アーティストビデオ賞」を受賞した King Gnu です。大歓声の中、「飛行艇」「白日」を披露し、今年メジャーデビューしたバンドとは思えない迫力のステージで会場を沸かせます。続いて特別賞の「Rising Star Award」を受賞した THE BOYZ が登場、次世代を担う K-POP アーティストのフレッシュなパフォーマンスで観客にインパクトを残し、「MTV Breakthrough Song」を受賞した Foorin は VMAJ 史上最年少ながらものびのびしたパブリカ・ダンスで会場を盛り上げました。続いて「最優秀邦楽男性アーティストビデオ賞」を受賞した三浦大知が登場。これまでに 5 度の VMAJ 受賞歴を誇るスーパーエンターテイナーの圧巻のステージに観客は酔いしれました。続いて「最優秀オルタナティブビデオ賞」の BiSH は持ち前の熱いステージでオーディエンスを魅了します。更に今年の MC を務めた日向坂 46 もスペシャルメドレーを展開。「最優秀振付け賞」を受賞した「キュン」では会場が一体となり盛り上がりました。

イベントはいよいよ終盤を迎えます。ゲスト・ライブ・アクトとして INTERSECTION とさなりが登場。MTV が毎月選出している新人アーティストのヘビーローテーション「HOT SEAT」にも選ばれた 2 組が、それぞれ勢いあるアクトを披露し、イベントに爽やかな風を吹き込みました。また、「Rising Star Award」を受賞した BALLISTIK BOYZ from EXILE TRIBE は、卓越したダンスパフォーマンスで会場を盛り上げます。

そしていよいよ、「最優秀ビデオ賞」の発表です。各部門の受賞者の中からもっとも投票数の多かった作品に贈られるこの賞に輝いたのは、King Gnu の「白日」です。配信のみのリリースながら、ドラマ主題歌として

大ヒットを記録し、ミュージックビデオの再生数は6千300万回を超えるなど、まさに今年の顔となった「白日」がMTV VMAJにおいても**最多投票数**を獲得しました。**VMAJ 史上、「最優秀新人アーティスト賞」の作品が「最優秀ビデオ賞」を獲得するのは初**となります。King Gnu はステージで「嬉しいです」とシンプルに語り、観客からは拍手と歓声が贈られました。

あらゆるジャンルのアーティストが出演した「**MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-**」。

フィナーレを飾ったのは、**GLAY** です。今年デビュー25周年を迎え、「**MTV Rock the World Award**」を獲得するなど、まさに日本が誇るロックバンドの貫禄のライブで、イベントは華やかにエンディングを迎えました。

MTV では、このイベントの様相を **9月22日(日) 20時**より放送いたします。

【受賞作品】

- 最優秀ビデオ賞 : King Gnu 「白日」 (OSRIN)
- 最優秀邦楽男性アーティストビデオ賞 : 三浦大知 「片隅」 (シミズヒロタカ)
- 最優秀洋楽男性アーティストビデオ賞 : カリード 「Talk」 (Emil Nava)
- 最優秀邦楽女性アーティストビデオ賞 : あいみょん 「今夜このまま」 (山田智和)
- 最優秀洋楽女性アーティストビデオ賞 : テイラー・スウィフト
「Me! feat. BRENDON URIE OF PANIC! AT THE DISCO」 (Dave Meyers & Taylor Swift)
- 最優秀邦楽グループビデオ賞 : 樺坂 46 「黒い羊」 (新宮良平)
- 最優秀洋楽グループビデオ賞 : THE 1975 「Sincerity is Scary」 (Warren Fu)
- 最優秀邦楽新人アーティストビデオ賞 : King Gnu 「白日」 (OSRIN)
- 最優秀洋楽新人アーティストビデオ賞 : ビリー・アイリッシュ 「Bad Guy」 (Dave Meyers)
- 最優秀ロックビデオ賞 : BUMP OF CHICKEN 「Aurora」 (林響太郎)
- 最優秀オルタナティブビデオ賞 : BiSH 「stereo future」 (大喜多正毅)
- 最優秀ポップビデオ賞 : 菅田将暉 「まちがいさがし」 (林響太郎)
- 最優秀ヒップホップビデオ賞 : KREVA 「音色 ~2019 Ver.~」 (大喜多正毅)
- 最優秀ダンスビデオ賞 : サカナクション 「忘れられないの」 (田中裕介)
- 最優秀コラボレーションビデオ賞 : 椎名林檎と宮本浩次 「獣ゆく細道」 (児玉裕一)
- 最優秀振付け賞 : 日向坂 46 「キュン」 (安藤隼人)

特別賞

- MTV Rock the World Award : GLAY
- 最優秀アーティスト賞 : ONE OK ROCK
- 最優秀楽曲賞 : Official 髭男 dism 「Pretender」
- 最優秀アルバム賞 : 星野源 『POP VIRUS』
- Best Buzz Award : BTS
- Rising Star Award : BALLISTIK BOYZ from EXILE TRIBE、THE BOYZ
- MTV Breakthrough Song : Foorin 「パプリカ」

■ 「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」 開催概要

日 時 : 2019年9月18日(水)
会 場 : STUDIO COAST (東京都江東区新木場 2-2-10)
M C : 日向坂 46

WINNER LIVE ACT : BALLISTIK BOYZ from EXILE TRIBE、BiSH、Foorin、GLAY、King Gnu、三浦大知、THE BOYZ (ABC順)

GUEST LIVE ACT : INTERSECTION、さなり (ABC順)

コメント出演 : あいみょん、ビリー・アイリッシュ、星野源、樺坂 46、カリード、KREVA、Official 髭男 disarm
ONE OK ROCK、サカナクション、菅田将暉、THE 1975 (ABC 順)

ウェブサイト : <http://www.mtvjapan.com/vmaj/2019>

主 催 : バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

協 賛 : 株式会社 大丸松坂屋百貨店、ディップ株式会社、ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社
GYAO!、三菱電機株式会社、株式会社物語コーポレーション、QUICPay (クイックペイ)
uP!!!ライブパス

お 問 合 せ : MTV HOTLINE <http://www.mtvjapan.com/info/contact>

■ 放送情報

「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」

初回放送 : 9月22日(日) 20:00-22:30

再放送 : 9月23日(月) 17:00-19:30、9月26日(木) 20:00-22:30、9月28日(土) 18:00-20:30

■ 「MTV VMAJ 2019」選考委員長サイモン・ベイツによる、コメント

アーティストのことを知っているからこそ、その良さが際立つ作品や、誰が見ても圧倒的に面白いと感じる作品など、それぞれのアプローチには興味深いものがあった。海外作品は、かなり作りこまれた構成の映像が多かったのに対して、国内の作品は、アーティストのパフォーマンスを丁寧に切り取るような繊細な作品が多い印象を受けた。特に King Gnu の「白日」は、シンプルなモノクロームの演奏風景であるが、シンプルが故に、彼らのありのままの魅力やその存在感が際立っており、BEST NEW ARTIST VIDEO のウィナーにして、視聴者の投票により BEST VIDEO OF THE YEAR に輝くという、まさにスターダムに上り詰めようとしている彼らの今を象徴するすような結果になったと思う。

サイモン・ベイツ Vice President Head of MTV アジア・パシフィック

■ MTV VMAJ とは

音楽を“聞くもの”から“見て楽しむもの”へと変えたパイオニア「MTV」を象徴する、伝統ある米国「MTV VIDEO MUSIC AWARDS」の日本版として、2002年以來開催している国際規模の音楽アワード。多岐にわたる部門において最も優れた作品を発表する“ミュージックビデオの祭典”として毎年賞の行方が注目されています。また、豪華アーティストのライブパフォーマンスも見どころの一つで、MTVらしいサプライズとユーモアに溢れたイベントはオーディエンス、視聴者、出演者が一緒に楽しめる一大エンターテインメントショーとして親しまれています。

■ ライブレポート

新木場 STUDIO COAST にて開催されたスペシャルイベント「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」、今年は日向坂 46 を MC に迎えて実施された。ライブアクト 1 組目の King Gnu は「飛行艇」でヘヴィなグルーブを響かせ場の空気を一変させて観る者を惹きつける。続く「白日」では井口理 (Vo, Key) がシルキーな歌声を響かせると、客席から喜びの歓声が沸き起こり、圧巻のパフォーマンスでトップバッターの大役を務め上げた。

続いてステージに現れたのは、韓国出身の男性グループ THE BOYZ。彼らの名前がアナウンスされると同時に、フロアからは悲鳴にも似た歓声が響き渡り、それに応えるように THE BOYZ の面々は 1 曲目「No Air」からキレのあるパフォーマンスで観客を圧倒させる。また、「D.D.D」ではダイナミックで息の合ったダンス、色気の強い歌とラップで会場を熱気で包み込んだ。

3 組目に登場したのは、Foorin。受賞曲「パプリカ」を持ち前の元気さで表現してみせる。客席には彼らのダンスを真似する者も多く、改めてこの曲の人気ぶりが伺えた。4 番目はすでに VMAJ ではおなじみの存在となった三浦大知。音数の少ないバックトラックが印象的なスローナンバー「片隅」からライブをスタートさせると、その透き通る歌声と曲の世界観にぴったりな照明演出で会場の空気を掌握する。さらに、「Blizzard」では観客のハンドクラップとグルーヴィーなサウンドに合わせて、力強いボーカルと独創的なダンスでその存在感を提示した。

イベント中盤戦を大いに盛り上げたのは、BiSH。受賞曲となった「stereo future」からライブを始めた彼女たちは、ステ

ージをめいっぱい使ったパフォーマンスで唯一無二の世界観を作り上げていく。MC ではメンバーを代表してセントチヒロ・チッチが受賞の喜びを口にしつつ、「これからも BiSH はジャンルに捉われず、たくさんごはんを食べて音楽を届けていきたいです」と挨拶をしてから「DISTANCE」でライブを締めくくった。

6 組目のライブアクトは MC の重責も見事に果たす日向坂 46。この日最多となる 17 名という大所帯でステージに現れた彼女たちは、「ドレミソラシド」からライブを開始。可愛らしいダンスパフォーマンスでフロアを優しい空気で包み込むと、続く「キツネ」では会場をダンスフロアへと一変させる。そして、MC でメンバーの佐々木久美が「VMAJ」で MC を務めさせていただいて光栄です」と挨拶をし、最優秀振付け賞に選ばれたデビュー曲「キュン」で自身のライブパートを終えた。

続いてスペシャル企画として、ニューカマー2 組がゲストライブに出演。まず登場したメンバー全員が日米ハーフという INTERSECTION は、エレクトロ色の強い「Lost Boy」でその独自性をアピール。続くさなりは弱冠 16 歳という若さを感じさせない大人びたステージングで、「悪戯」「Prince」をメドレーで披露した。

スタートから 2 時間を超えたイベントもいよいよ佳境へ。9 組目の BALLISTIK BOYZ from EXLE TRIBE は、強いビートが効いたヒップホップチューン「デンハネ -1000%-」でメンバー全員が一丸となってフロアを盛り上げていく。アクロバティックなダンスがフィーチャーされたこの曲で、会場の熱気は一気に上昇。さらに 10 月リリースの新曲「44RAIDERS」も披露され、会場に集まったオーディエンスを魅了した。

今年の VMAJ も最優秀ビデオ賞の発表でついにクライマックスを迎える。栄えある同賞を受賞したのは、この日のトップバッターを務めた King Gnu の「白日」。驚きを隠しきれない King Gnu の面々だったが、メンバーを代表して常田大希 (Gt, Vo) と井口理 (Vo, Key) が「うれしいです」とシンプルな言葉で喜びを口にした。

今年の VMAJ を締めくくる最後のライブアクトである GLAY は、メロディアスなミディアムチューン「COLORS」からライブを開始。流麗なメロディに乗せて TERU (Vo) が力強くも温かみのあるボーカルを響かせ、会場中の視線を釘付けにした。MC では TERU が「初めての方も多いと思うんですけど、今年 25 周年。音楽に携わって生活できていることが幸せだなと、しみじみと感じながら活動しています。そういう感謝の気持ちを込めて、大切な曲を用意してきています」と感謝の気持ちを告げてから、90 年代の代表曲のひとつ「春を愛する人」をプレゼント。曲名がアナウンスされるとフロアからは喜びの声が上がり、GLAY の面々は多幸感にあふれる会場内にさらなるピースフルな空気を注ぎ込んだ。こうして 2 時間半におよぶ 2019 年の「MTV VMAJ 2019 -THE LIVE-」は大成功のうちに幕を下ろした。(取材・文/西廣智一)